

みずほCustomer Desk Report 2016/07/25号(As of 2016/07/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	105.72
TKY 9:00AM	105.79	1.1033	116.62	0.9852	1.3233	0.7505
SYD-NY High	106.40	1.1041	117.26	0.9893	1.3292	0.7508
SYD-NY Low	105.57	1.0956	116.25	0.9844	1.3079	0.7443
NY 5:00 PM	106.24	1.0977	116.50	0.9872	1.3113	0.7466
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	15.355/15.905		△25RR	0.983	Yen Call Over	
NY DOW	18,570.85	53.62	債券市場			
NASDAQ	5,100.16	26.26	日本2年債	-0.3260	▲1.0bp	
S&P	2,175.05	9.86	日本10年債	-0.2200	▲0.4bp	
日経平均	16,627.25	▲182.97	米国2年債	0.7025	2.5bp	
TOPIX	1,327.51	▲11.88	米国5年債	1.1168	2.3bp	
シカゴ日経先物	16,660	35.00	米国10年債	1.5663	1.0bp	
ロンドンFT	6,730.48	30.59	独10年債	-0.0300	▲1.3bp	
DAX	10,147.46	▲8.75	英10年債	0.7980	▲3.6bp	
ハンセン指数	21,964.27	▲36.22	豪10年債	1.9060	▲1.8bp	
上海総合	3,012.82	▲26.19	為替市況			
USDJPY 3M Vol	13.32	▲0.29%	USD/CNH	6.6826	0.0057	
USDJPY 6M Vol	12.48	▲0.18%	ドルインデックス	97.47	0.47	
EURJPY 3M Vol	14.52	▲0.06%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	13.81	0.09%	CRB指数	182.901	▲0.77	
			NY金	1,331,500	▲7.40	
			WTI	44.190	▲0.56	
			Dubai Spot	42.26	▲0.86	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月22日	8:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	11:00	日 日経日本PMI製造業	7月 49.0	-
	16:30	独 PMI(速報、製造業/サービス業/コンポジット)	7月 53.7/54.6/55.3	53.4/53.2/53.6
	17:00	欧 PMI(速報、製造業/サービス業/コンポジット)	7月 51.9/52.7/52.9	52.0/52.3/52.5
	17:30	英 PMI(速報、製造業/サービス業/コンポジット)	7月 49.1/47.4/47.7	48.7/48.8/49.0
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/1.5%	0.1%/1.4%
	21:30	加 コアCPI(前月比/前年比)	6月 0.0%/2.1%	-0.1%/2.0%
	22:45	米 製造業PMI(速報)	7月 52.9	51.5

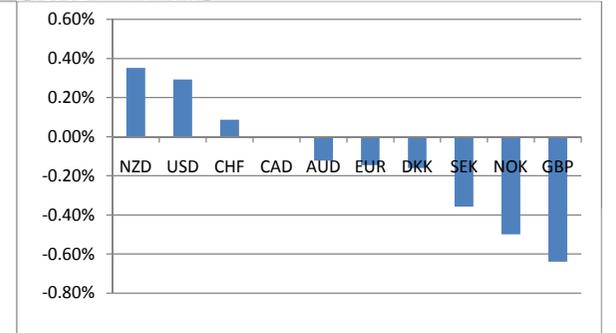
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月25日	8:50	日 貿易収支	6月 ¥474.4B	-¥40.6B
	16:30	NZ ウィーラーRBNZ総裁講演	-	-
	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	7月 107.5/114.0/101.6	108.7/114.5/103.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間朝方、本邦政府による経済対策が20-30兆円規模になる可能性があるとの日経新聞の報道に、ドル円は106.27まで上昇。しかし、前日レコパターナーに関するヘッドラインに大きく振られたこともあり、さらなる上値追いの流れとはならず、再び105円台後半まで押し戻される展開。かかる中、東京時間のドル円は105.79レールでオープン。前日海外時間に日経先物が大きく下落したことを受けて、日経平均株価が軟調にスタートすると、ドル円も一時105.57まで下落。その後105.90近辺まで持ち直すものの、特段目立った材料の無い中、来週のイベントを控えて105円台後半で方向感に乏しい推移が続く。105.97レールで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は上昇するも、その後は上値の重い展開。105.97レールでオープン後、東京時間朝方の「経済対策規模20-30兆円の可能性」とのニュースが再び意識されたことや、「日銀、追加緩和検討」とのヘッドラインを受け、106.28まで買い進まれる。しかしその後反落する流れとなると、106.06レールでNYに渡った。ユーロドルは横ばい、1.1030レールでオープン後、独及びユーロ圏7月PMIが予想の範囲内となり、その他に目立ったニュースもなく、方向感なく推移。1.1025レールにてNYに渡った。一方、ポンドは大きく下落。ポンドドルは1.3256レールでオープン後、発表された英7月コンポジットPMIが47.7と市場予想(49.0)を大きく下回ったことから、ポンドは全面安となり、1.3116レールでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は106.06レールでオープン。朝方は狭いレンジ内での推移が続くが、株式市場が軟化する展開に円買いが優勢となり、105.87まで下落する。その後はロンドン・フックスに掛けてドル買いが強まると、106.40まで上昇する。午後は株式市場が堅調に推移する一方、ドル円は週末を控え方向感に乏しい推移が続く。106.24レールでクロスした。一方、ユーロドルは1.1025レールでNYオープン。朝方は狭いレンジ内での推移が続くが、ロンドン・フックスに掛けてドル買いが優勢となり、1.0967まで下落する。その後もミュンヘンでの銃撃騒動等があり、1.0956まで続落。午後は安値圏での推移が続く。再び1.0956まで下落するも、終盤に掛けては週末を控えた調整からじり高で推移し、1.0977レールでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.70-106.70	1.0920-1.1020	116.00-117.00

【マーケットインプレッション】

前週末、海外市場のドル円相場は小動きの展開。本邦の経済対策期待からドル円は105円台後半で底堅く推移した。ドルは相対的に買い意欲が優勢で、米国の経済指標が足元で良好な結果を示す中、ドルインデックスは4ヶ月ぶりの高値をつける。一方、ユーロ/ドルはドイツのミュンヘンでの銃撃騒動を受けてユーロ売りが強まるとユーロ/ドルは1.10をブレイクし、軟調に推移した。本日のドル円は26日から開催されるFOMCや29日の日銀金融政策決定会合結果を控え、様子見ムードが強まる展開が予想され、ドル円は106円を挟んだレンジ推移の展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・西谷